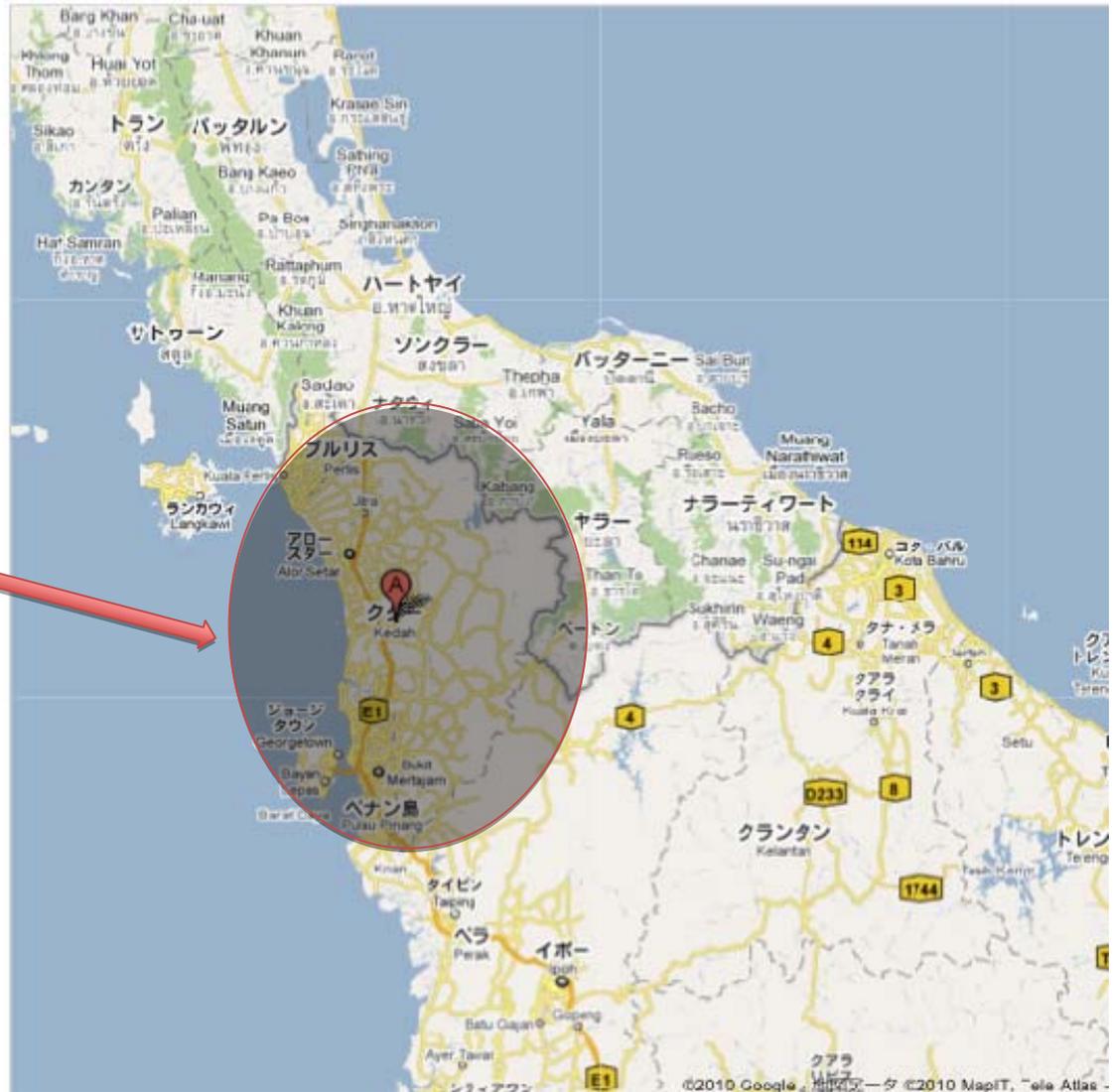


「タイ=マレー境域のフィールド
調査事情について;
南タイと北マレーシア」

鹿児島大学 黒田景子

黒田の近年の研究

- 地域研究/歴史学調査の立場から
- 「マレー境域世界におけるタイ仏教徒コミュニティの研究」 2007-2009 科研基盤研究
- マレーシア Kedah州でのタイ仏教寺院44の訪問調査



クダー世界のタイ仏教寺院



500年～100年の歴史を持つ



Oral History の限界 と 地域観察

本題に
はいりまして

1. 地域の治安状況

- 1) 科研やその他外部資金による調査--外務省安全情報
 - 2) 治安状況について
 - 南タイ 1988年から2004年-比較的自由。現状は危険。
 - 北部マレーシア 西海岸のクダー州 安全
- ☆境域の特殊性---国境によって分断されたイメージで調査自身が制約されがち。

南タイ深南部



タイ深南部テロ/パタニ分離独立運動

1988/

パタニクルセモスク



2004年クルセモスクの戦闘



南タイソンクラ一碑文調査



サムロン橋碑文/3言語碑文



- 3) 国境状況 タイとマレーシアの国境 陸地国境で6〜7カ所
 - 新しく開通予定---Kota Putra (Kedah—Patani)
- 4) アンテナを張る
 - 結社の自由の制限-----5名以上の会合は禁止 合法と違法。
 - カウンターパートへの迷惑はあるか。
- 5) 地図/統計はどの程度取得できるか？
 - タイ、詳細地図は正式には購入不可、関係機関から入手できることもある
 - 統計への信頼性

タイ=ブルリス国境 Wankrian



Wankrianの市/ 新国境Kota Putra



2010 年4月の開通予定/Kota Putra



アジアハイウェイ大動脈



Sadao/Bukit Kayu Hitam



2. 調査手続き、ビザなどについて

- ビザを取得した調査とそれ以外の調査
- 1) 調査ビザと報告(正式調査)
 - タイ NRCT National Research Council of Thailand
 - マレーシア EPU Economic Planning Unit での調査許可
 - 調査申請→許可→ research Visaを申請→国外で取得
 - 電子申し込み可能。現地受け入れ人、調査箇所の詳細な提示
 - 申請から半年要。
 - 帰国前に報告書提出。EPU 帰国後論文提出 未提出→新たな調査は不許可。

- 2) 実際には協力する大学関係者にたのんで、観光ビザで動く場合が多い。
- 3) 調査可能地域。
 - 国立文書館の資料-Research Pass 要 利用証
 - 実際におとずれる場所は申請時に書いていないと利用不可。厳密。
 - 一時国外にでると無効。Re-entry Visaの取得。
 - 調査期間の延長は可能。

3. 地域問題と対処方法

- 1) 大学研究者/NGO等 (カウンターパート情報)
- 2) 地域政治の状況-----UMNO と PASの対立(マレーシア)
 - 村落の調査→村落の支持政党が重要
 - イスラーム原理主義色の強いPAS村落での調査は少ない。大学関係者が紹介するのは反発の少ないUMNOである。



- 3) 女性でイスラーム関係の調査をする場合は生活や服装などにも制約。
 - イスラーム圏の常識など。
- 4) 調査後のケアーとつき合い。
 - 「養子」関係になることが多く、その関係はかなり永続的である。

4.健康管理や病気について

- 1) 熱帯の環境。
 - 雨期の調査
- 2) 滞在先
 - ホテルの利用 通い調査
 - 村落への住み込み 家を借りるか住み込むか、地域によって状況差あり
- 3) 病気
 - 破傷風 デング熱 場所によってはマラリアに注意。
 - 十分な休息が必要になってくる。

マレーシアから日本へのチクングニヤ熱輸入例

2009年2月4日 ProMED 情報



1月6日、3年間神戸市在住のマレーシア人女性が、高熱、倦怠感、関節炎などのデング熱様症状で病院を受診しました。女性は2008年12月19日～今年1月3日までマレーシア(12月～2月は雨季)のクアラルンプール市を訪れました。1月5日から高熱と両手・両下肢・両足首の関節炎が出現しました。1月6日の検査ではデング熱 IgM 抗体、迅速インフルエンザ抗原検査、マラリア血液塗抹検査、チフス菌血液培養はいずれも陰性で、デング熱に対する IgG 抗体のみが陽性でした。

国立感染症研究所(東京)に血清が送付され、そこでの PCR 検査でチクングニヤウイルス遺伝子(RNA)は陽性でした。抗チクングニヤウイルス IgM 抗体は、1月6日の血清では陰性でしたが、1月15日の血清では陽性でした。デング熱ウイルスに対する IgG 抗体は両日とも陽性であったため、過去にデング熱にもかかったことが示されました。

40℃の高熱は6日間で解熱し、第6～10病日に四肢にかゆみを伴う発疹が認められました。この女性患者の夫と2名の幼児には、帰国後14日間に発熱を伴う症状は認められていません。

厚生労働省 福岡保健所



5 会計関係(予算のやりくり等)

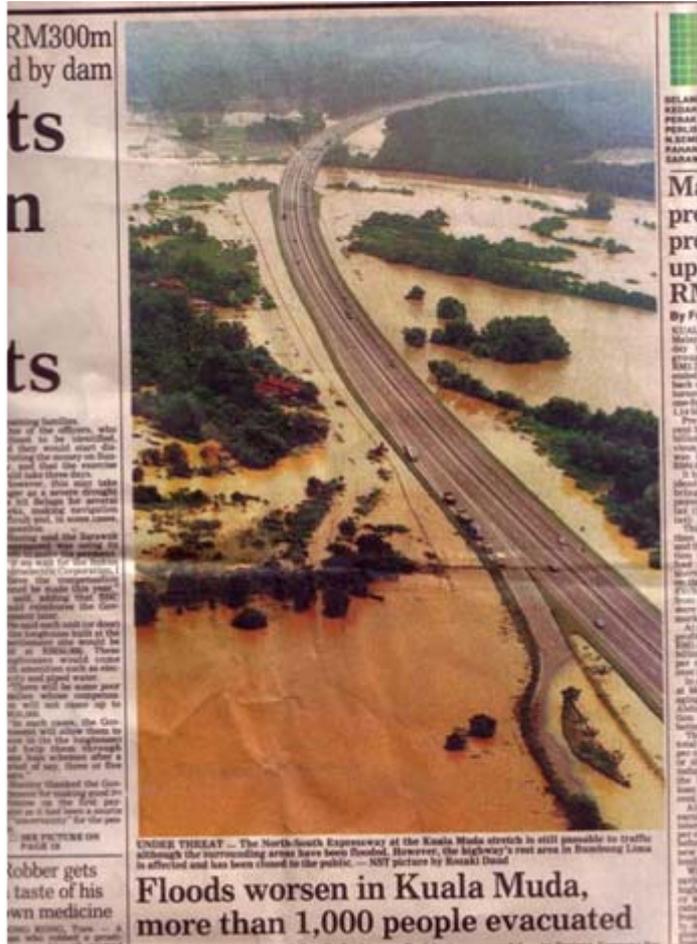
1) 交通費 レンタカー予算 クルマかり出し

– クルマ社会。タクシーの借り上げは一般的ではない。レンタカー利用が普通。

– 個人からクルマを借りられるか。

2) 贈り物などの慣習、

洪水/駐車違反



6. 科研制度の改定とその問題点

・個別の事情

- 科研の条件にあわせる調査。
- 並行調査の場合。書類上のやりくり。
- 移動日指定の困難。
- 調査時期に関する大学事務関係者の無理解

7. 資料の持ち出し

- 1) 文書館史料—高額な複写費
- 2) 考古学資料の持ち出し
 - 大学関係者に保管を頼むしかない。
- 3) 書籍資料
 - マレー語やタイ語のもので日本から入手できないものは郵送

8.人権・倫理問題について

(個人情報の問題)

- 1) 歴史調査--Oral Historyの場合は記名が条件である。
 - 本人に承諾をえて、記述する。
- 2) 文化人類学の調査の場合は仮名を使うことがほぼ常識。
- ★調査者の評判は滞在先の評判である。